

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 2 月 26 日 (2015.2.26)

【公表番号】特表 2015-501362 (P2015-501362A)

【公表日】平成 27 年 1 月 15 日 (2015.1.15)

【年通号数】公開・登録公報 2015-003

【出願番号】特願 2014-538788 (P2014-538788)

【国際特許分類】

C 0 8 J 3/20 (2006.01)

C 0 8 L 21/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/36 (2006.01)

C 0 8 K 5/54 (2006.01)

B 6 0 C 1/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 3/20 Z

C 0 8 L 21/00

C 0 8 K 3/36

C 0 8 K 5/54

B 6 0 C 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 12 日 (2014.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ゴム組成物の調整方法であって、

a. 少なくとも 1 つの予備混合工程において、

(i) 少なくとも 1 種の天然または合成ゴムポリマー、

(i i) シリカフィラー、

(i i i) シリカカップリング剤、および

(i v) 少なくとも 1 種の加硫化促進剤をブレンドする工程と、

b. 続いて、最終混合工程において硫黄硬化剤をブレンドする工程とを含み、

前記最終混合工程は、硫化促進剤を一切含まないことを特徴とするゴム組成物調整方法。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 種の加硫化促進剤は 0 . 1 ~ 1 0 p h r で存在することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 種の加硫化促進剤は、1, 3 - ジフェニルグアニジン (D P G)、テトラメチルチウラムジスルフィド (T M T D)、4, 4 - ジチオジモルホリン (D T D M)、テトラブチルチウラムジスルフィド (T B T D)、ベンゾチアジスルフィド (M B T S)、2 - (モルホリノチオ) ベンゾチアゾール (M B S)、N - t e r t - ブチル - 2 - ベンゾチアゾールスルホンアミド (T B B S)、N - シクロヘキシル - 2 - ベンゾチアゾールスルホンアミド (C B S)、及びそれらの混合物からなる群から選択される、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 種の加流化促進剤は、フィラー、ゴムポリマー、およびシリカカップリング剤が全てが添加された後に、他の材料とは別個に混合工程において添加されることを特徴とする、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の方法によって製造されるゴム組成物。